

<講座内容 詳細>

<英語科>

[文法・語法] [正誤] [整序] [口語表現] [発音・アクセント]など読解以外のすべて(ミクロ的分野)を扱います。講義では過去10年の入試問題を徹底的に分析し、2学期以降の学習の指針にしてもらいます。テキストは膨大な量となりますが、きちんとこなしてもらえば確実に力がつくように編集してあります。受験前日まで使える充実した内容となっています。期待してください。講師渾身の力作です。

<数学科>

数学の演習をひたすら行います。
ただし、ただやるだけでは意味がありません。実際の入試でも数学は時間との戦いになる大学が多いです。そこで、毎コマごとに終わらせるべき問題を決めます。指定されたノルマをその時間内に終わらせてください。解いたらその場ですぐ採点をします。そして次のコマでは次のノルマが課されます。その日のノルマが授業内で終わらなければ、校舎を閉める時間まで残って終わらせてもらいます。
また、適宜、理解度を確認する解説講義も行います。
普段これくらい、制限を設けて解き切ろうという勉強をしていますか？自習だとなかなか追い込んでやり切るという練習ができず、点を取りきるという力がつかないまま当日を迎える受験生も多いです。時間をじっくり確保できる夏。だからこそ、ここで苦しんでください。数学の力をつけ切りましょう。

<現代文科>

題して「現代文のクレール射撃」。つぎつぎ繰り出される現代文の良問を、「対比」に標準を合わせて打ち砕く！予習なしのすべて演習形式。通常授業で扱うものよりも、短く絞られた文章と設問を使い、集中的にたくさんのテーマ、たくさんの著名筆者、たくさんの大学の問題に当たります。街の風景など見るものすべてがレットとブルーに見えてくる、現代文用の視力矯正講座なのです。【テーマは文化論・文学論・宗教論・学問論・科学論・社会論など網羅性重視。設問形式は選択肢型・抜き出し型などがメインとなります。】いつもの二種類の小テストはありません。

<古文科>

夏期集中特訓では、古文読解の要である「重要単語・重要文法」の中から、即答しなければならぬものをピックアップし、演習 & 講義をしていきます。
「重要単語」については、「使い分けが出題」「文法的アプローチ」「対義語整理」などに分類し、アウトプットのしやすさ重視の学習をしていきます。単語習得では、すべての単語を同じように覚えようとする方法ではなく、ポイントを掴んだ整理の仕方が大切です。「重要文法」については、【カタチの理解】から【訳／意味】を一瞬で閃くための練習をします。最新の入試問題を用いて、文脈に関わらない、頼らない、パズル感覚の文法演習をお届けします。
学習内容のすべてが知識事項であるため、復習を何度も重ねて、集中特訓期間内に定着させてください。